

(参考：これまでの活動)

千葉演習林と中央博物館は 2010 年度より共同で千葉演習林全域の生物相調査・研究を行ってきました。植物相調査では 1,000 種以上を記録し、県内で初記録の植物 2 種が発見されました。昆虫相調査では 2700 種以上を記録し、2 種の新種記載や 280 種以上の県内初記録といった成果がありました。蘚苔類・地衣類・大型菌類相・化石などの調査・研究も含め、特に 2017 年に発行された『房総丘陵の自然誌』報告書には多くの情報が掲載されています。

これらの成果は以下のウェブサイトからご覧いただけます。

中央博物館 <http://www2.chiba-muse.or.jp/www/NATURAL/contents/1520748120937/index.html>

千葉演習林 https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/research/open_data.html

また、中央博物館の常設展示では千葉県内の代表的な森林環境として千葉演習林が紹介されています。2018 年の企画展「房総丘陵はすごい—調べてびっくり、新発見の数々—」では、それまでの調査で発見された新種などを含めた千葉演習林の自然環境の魅力が数多く紹介されました。

一方で、千葉演習林の一般公開イベントでも中央博物館の紹介ブースを設け、来訪された方へのアウトリーチ活動を行ったり、地元小学校の森林体験プログラムで関連資料の展示などを行ってきました。



共同で実施した動植物の調査風景